編集メモ

少し気の早い冬の話で申し訳ないが，山スキーのコースに吾妻連峰大沢下りというものがある．知る人ぞ知る名コースである．今でいうバックカントリースキーであろうか，いわゆるスキーゲレンデではなく自由に山を下るコースである．標高約 2,000 m の稜線から，最後に大沢駅のホームにヒョイとスキーで降り立つまでの標高差は 1,400 m 以上ある．一日がかりのこのコースを幾度か楽しませてもらった．

米沢駅からバスで天元台高原スキー場に向かい，ゴンドラとリフトを乗り継ぎ吾妻連峰の主稜線に達する．リフトの終着点からスキーにシールをつけてスキー場のコースから離れ，ややトラバース気味に東に進む．藤十郎，弥兵衛平を過ぎ，東大巓の手前で山小屋・明月荘に進路をかえる．夏に湿原となるこの辺りは，冬には真っ白な雪原となり，吹雪かれるとホワイトアウトとなって進路を見失いやすい．明月荘で一休みし少し北に進めば，大斜面の始まりである．吹雪かれてクラストした斜面から，フカフカの深雪の斜面へとかわり下っていく．高山帯を過ぎ樹林帯へと入れば，今度は右に左に木々をよけながら下るのも楽しい．樹林帯を越すとブッシュ帯となり，さらに下ると開けた牧場に出る．のんびり緩斜面を下っていくと林道に達し，スケーティングを交えながらクラストした雪の林道を下っていくと古いお茶屋の前に出て，気付くと駅のホームとなる．前もって車を駅前に停めておけばそこから帰れるし，車を米沢駅に停めてあっても，列車で大沢駅から米沢駅までは 2 駅である．車と列車を利用した，手軽ながら内容の濃い山スキーコースである．

何故にこのコースのことを思い出したかというと，最近，東北新幹線の車内の電光掲示板に大沢駅には列車が止まらなくなったという表示が出たからである．JR はその理由を乗降客が少ないからとしているが，多分ゼロなのであろう．大沢は典型的な過疎の集落である．私が通っていた頃からすでに過疎であったのであるからして，遂に住民がいなくなったか．限界集落どころか廃村の危機である．廃村となれば冬の除雪もされないであろうから，車で近づくことも叶わない日がくるのかもしれない．

都会にいるとニュースでしか聞こえてこないが，実は日本の地方は危機的状況である．学会では施設の集約化とか叫んでいるが，時代の流れのほうが早い．自然淘汰である．そういえば，最近，林を見かけなくなった．人手が入らず蔓が絡まった森ばかりである．これでは熊も人里に近づこう．バイクで山を走ると，道端に熊を見かけることもとみに増えた．森が安定した極相に至るまで数百年かかるという．この国の将来は一体どうなるのであろうか．

（千田雅之）

編集顧問 幕内晴朗　近藤丘
編集主幹 小野稔　千田雅之
編集 今中和人　岩崎昭憲　碓氷章彦　奥村明之進　笠原真悟
亀井尚　坂本喜三郎　澤芳樹　塩瀬明　志水秀行
鈴木弘行　土田正則　松居喜郎　湊谷謙司　宮入剛
宮地鑑　横見瀬裕保　横山斉

胸部外科　第 78 巻 第 10 号（9 月増刊号）［939 冊］　2025 年 9 月 10 日発行
編集兼発行者　東京都文京区本郷三丁目 42 番 6 号　小立健太
印刷所　東京都千代田区飯田橋二丁目 15 番 5 号　日経印刷株式会社

発行所
株式会社 **南江堂**　〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目 42 番 6 号
TEL 03-3811-7619　FAX 03-3811-8660（編集）
03-3811-7239（営業）
ホームページ　https://www.nankodo.co.jp/

本誌に掲載する著作物の複製権，翻訳・翻案権，上映権，譲渡権，公衆送信権（送信可能化権を含む），貸与権，二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は，（株）南江堂が保有します．
JCOPY〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉
本書の無断複写は，著作権法上での例外を除き禁じられています．複写される場合は，そのつど事前に，出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088，FAX 03-5244-5089，e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください．

広告申込所：〒113-0033　東京都文京区本郷 5-24-6　本郷大原ビル 6 階　文京メディカル　電話 03-3817-8036

2026/10/02 21:14:15